



発行所
公益財団法人 漁船海難遺児育英会
〒101-0047 東京都千代田区
内神田1丁目2番1号
ダコタハウス5階
電話 03 (3518) 6121
FAX 03 (3518) 6122
E-mail: mizuuro.ikuei@eos.ocn.ne.jp
水色の羽根募金運動

2016 ふれあい旅行



本会普及指導事業の1つである奨学生・保護者交流活動「2016 ふれあい旅行」を、7月29日から2泊3日の日程で開催しました。



▲出発前の記念撮影

この活動は、①体験活動を通じて子供たちが「友情の輪を広げ」、かつ「生きる力」を学ぶ場を提供すること、②保護者間の交流の場を提供すること、③親子で貴重な時間と体験を共有することで、さらに家族の絆を深めることを目的として、2010年度より実施しております。6回目となる今年度は、全国から募集した奨学生(小2・中3)とその保護者計24人を無料で招待し、群馬県渋川市「伊香保温泉周辺」を訪れました。

当日は、漁船海難遺児を励ます全国協議会(JF全漁連)から漁政部木山部長代理、JF共水連から普及・研修部内田課長をお招きし、集合場所となったコープビル内の皆さんに見送られ現地へ出発した一行は、結団式での宣誓通り、3日間、仲間たちと楽しい夏の思い出作りに励みました。

この旅行の企画・運営にあたり、てくださったワンパク大学の皆さんはじめ、グッズやアイスをご提供いただいた各関係団体の皆さま、ご協力いただいた多くの皆さまに心より感謝申し上げます。

【参加者数】
24人(奨学生15人/保護者9人)

【スタッフ数】
8人(ワンパク大学3人(ガバチョ・ズミ・カツオ)/全協協(JF全漁連)職員1人/本会役職員4人)

【宿泊先】
ホテル 松本楼

【協賛団体】
・JF全漁連
・JF共水連

・(一財)中央漁業操業安全協会

※順不同・敬称略

【関連記事2面】



▲結団式にて挨拶する本会石山専務

第11回マリンカップ 海難遺児チャリティコンペ

7月23日(土)、三重県津市片田長谷町の津カントリー倶楽部において「第11回マリンカップ 海難遺児チャリティコンペ」(主催・NPO法人朝光クラブ 代表・朝香誠彦理事長)が開催されました。

こちらのコンペは、ゴルフを通じて漁船海難遺児への育英資金を募ることを開催趣旨とし、参加費の一部を第1回より毎年ご寄附していただいております。今年も県内外よりゴルフ愛好家174名が参加し存分にクラブを振られ、夏休み子供企画として招待された地元津市の子供たち(片田小学校生徒100名・津市児童養護施設生徒120名)を対象にJF三重県漁連・三重県漁協女性部による郷土料理の実演、津・高虎太鼓の演奏やそのほかの関連イベントなど盛りだくさんな行事を楽しみました。

コンペ終了後の表彰式で寄附金の目録を受け取った本会石山専務は、「皆さま方のご趣旨に添い、海難遺児の育英事業のために活用させていただきます」と述べ、朝香理事長に感謝状を贈りました。

大会関係者はじめご協力いただきました多くの皆さまに心よりお礼申し上げます。

鳥羽一郎漁港コンサート (重茂漁港)

8月7日(日)、岩手県宮古市重茂漁港で開催の「重茂味まつり」(主催・重茂漁協・後援・JF共水連他)のイベント行事として、震災復興、漁船海難遺児チャリティ鳥羽一郎コンサートが漁港市場の特設ステージで行われました。

約3千人の観客が見守る中、鳥羽さんが恒例の漁船で漁港岸壁に乗り着け、やん衆(漁師)スタイルで登場、歌手生活35周年記念曲で夫婦愛を歌った「北海夫婦唄」を皮切りにヒット曲11曲を披露し、会場の老若男女から威勢の良い歌声に喝采がとんでいました。



第24回漁船海難遺児育英資金造成 チャリティイーゴルフ大会

9月16日(金)、恩納村の沖縄国際ゴルフ倶楽部において「第24回漁船海難遺児育英資金造成チャリティイーゴルフ大会」(主催・漁船海難遺児育英資金造成チャリティイーゴルフ大会実行委員会・島袋操実行委員長)が開催されました。

こちらのイーゴルフ大会は、海難等の事故により犠牲となった漁業者の子弟が将来社会に貢献できる人材に成長してくれることを願い、本会事業を支援する全国的な資金造成活動の一環および県内の遺児に対する財政的支援を目的として、沖縄県漁協参事会が中心となり、各漁協・水産諸団体のご協力のもと毎年実施されております。

当日は72組約288名が参加され、早朝よりプレーを楽しまれました。プレー終了後の表彰式で上原大会会長(JF沖縄漁連会長)より寄附金の目録を受け取った本会石山専務は、「皆さま方のご趣旨に添い、海難遺児の育英事業のために活用させていただきます」と挨拶しました。

大会関係者はじめご協力いただきました多くの皆さまに心よりお礼申し上げます。



▲表彰式にて、上原会長

金沢漁港 汐祭

9月1日(木)、神奈川県横浜金沢区・金沢漁港において「汐祭」(主催・横浜漁協金沢支所)が開催されました。

「汐祭(しおまつり)」とは江戸時代の中頃、野島沖で遭難した漁民を、仲間たちが供養するために始めたもので、現在は「豊漁と漁の安全」を祈ると共に、「漁で亡くなった人を供養」する伝統行事です。船上でお神楽を奉納し、沖合に出て神船よりお祓いを終えた「大漁丸」を海に降ろします。次に、

多数の漁船と共にフルスピードで「大漁丸」を中心に左旋回し転覆してひっくり返ることで船の海上安全が保たれるとされています。当日は、祝宴に招待された皆さまへ育英事業の説明を行い、たくさんの方々よりご理解を頂き、温かいご支援を賜りました。



▲お雛子船で神楽を奉納しています(横浜金沢観光協会ホームページより)



▲身代わりとなる「大漁丸」



▲久保寺支所長(左)と石山専務(右)



▲表彰式にて、朝香理事長(右)と石山専務(左)
(写真提供 津カントリー倶楽部)

2016 ふれあい旅行 ～群馬県 渋川市伊香保～



14:00 出発

コープビルの皆さんと
マーリン（JF 共水連マスコット）が
見送ってくれました。
みんなはバスの中から、
元気に「いってきま〜す（^^）」

16:30 榛名山山麓 ときめき展望台 散策



13:00 結団式 ～ふれあいタイム



バスに乗る前に、
お友達のお顔をばらばら（^^）

7月29日(1日目)

来賓ご挨拶



J F 全漁連漁政部
木山部長代理



J F 共水連
普及・研修部
内田課長

18:30 夕食～ふれあいタイム



夕食は宴会場で、豪華なお食事です。
食後は、まず子供たちのみでゲームがはじまり、
お母さんたちは観戦しながら、ゆっくりお食事♡
その後、お母さんたちも加わり子供たちと楽しい時間を
一緒に過ごしました。

21:00 消灯

子供たちはワンパク大学のスタッフに見守られ、夢の中…。
お母さんたちは…（^^）育英会スタッフと夜が更けるのも忘れ…
楽しくお話ししました。（お風呂も自由にのんびり入れますよ！）



7月31日(3日目)

9:00 クリアキャンドル作り



熊本：緒方家



福岡：道脇家



宮城：中里家



長崎：船倉家



鹿児島：立石家



千葉：高木家



神奈川：白崎家

13:00 解散（東京駅）



手紙書くね（^^）

まだ、帰りたくないよ～！

～参加者の声は次号でご紹介します。～



9:30 伊香保グリーン牧場

園内の誘導・説明もワンパク大学のスタッフが丁寧にしてくれます。
それに、トイレのタイミングや単独行動の注意まで。
すべてワンパク大学のスタッフ!!
お母さんはマイナスイオンをたっぷり浴びて
のんびりするだけでいいんです!!



シーブドッグショー

初めてショーを見学する子も多かったようで、犬たちの賢
さに驚きの連続でした。その犬を指示する時にトレーナー
が使用していた「犬笛」が、ふれあい旅行参加者の間で大
流行しました。



乳搾り体験

牛乳の嫌いなお子さんも、
乳搾りはできました。

14:30 アイスクリーム作り体験



液体からアイスになっていく工
程に、子供たちは目を輝かせて
いました。

13:00 昼食（バーベキュー）



たくさん遊んだので、
みんなモリモリ
食べていました（^^）

18:30 夕食～ （子供たち）ふれあいタイム / （保護者）情報交換会



温泉・牧場・自然を
満喫しよう!!

7月30日(2日目)

7:00 起床



子供たちのことは
ワンパク大学のスタッフがみてくれているので、
いつものバタバタした朝とは違い、
お母さんは自分のことだけすれば、いいんですよ!!

動いてよ～



ヤギ・羊の散歩
どっちが散歩さ
れているのか、
わからなくなる
ほど振り回され
ていましたよ
（笑）

16:00 伊香保石段街散策



お母さんたちはホテルでのんびり。
子供たちは
先生となったワンパク大学のスタッフから
石段の歴史や、温泉に触れたりとお勉強しました。



21:00 消灯



▲製作したのぼりをアピールする本会鈴木理事

製作にあたり、本会鈴木俊一理事長は「育英事業は不幸にして操業中に親を亡くした子供たちへ奨学金の給与や貸与の

毎年10月に「全国漁船安全操業推進月間（主催…全国漁業就業者確保育成センター）」が実施されており、本会は協賛団体として活動する中で、このたびライフジャケット着用推進による海難人身事故撲滅をアピールするのぼりを2,000枚製作し、漁船海難遺児を励ます地方協議会（地協）を通じ、全国のJF漁連・漁協等に配布しました。

ライフジャケット着用推進のぼりを製作

【8月】◎北海道▽加藤茂子▽北海道信連職員会▽本間雅彦▽山口きよ◎宮城県▽鎌内浩▽畠山和子◎茨城県▽常盤和己◎埼玉県▽岩山裕史▽内海和彦▽金木愛子▽古関和則▽小林哲朗▽鈴木基之▽田口昭博▽松本安裕◎千葉県▽猪苗代健一▽大類裕久▽坂口はつ子▽宮澤敏彦

【6月】◎北海道▽北海道漁業共済組合◎青森県▽原口健二◎福島県▽JF中之作◎富山県▽JFくろべー▽自販機売上一部◎岐阜県▽ト経由◎静岡県▽JF清水用宗支所▽用宗漁港まつり実行委員会◎京都府▽第66回浅海増殖研究発表会◎全国大会募金◎兵庫県▽吉岡力男

水色の羽根募金

1、漁協系統募金（各都道府県の漁連、信連等で構成する「漁船海難遺児を励ます地方協議会（略称：地協）」等を取り扱った分、一般寄附を含みます。）

【7月】◎北海道▽日高地区漁協職員協議会―第59回日高地区漁協職員大会チャリティオークション売上金◎青森県▽JF奥戸▽JF横浜町▽JF外ヶ浜▽JF佐井村▽JF小泊▽JF青森市▽JF白糠▽JF脇野沢村◎茨城県▽JFはさき▽JF大洗町▽JF平潟◎千葉県▽畑中英男―叙勲受章に際し▽JF千葉漁連木更津あさり事業所▽JF富津―自販機売上一部◎コカ・コーライーストジャパン（利根）木更津支店◎東京都▽JF小笠原母島◎富山県▽魚津漁協女性部▽JFくろべー▽自販機売上一部◎岐阜県▽ト経由◎静岡県▽初島漁業協同組合婦人部◎福島県▽JF越前町▽JF若狭高浜▽JF敦賀市▽JF福井漁連越前支所・小浜支所◎三重県▽NPO朝光クラブ理事長朝香誠彦―第11回マリンカップ◎兵庫県▽JF但馬▽JF東二見◎鳥取県▽JF全漁連購買事業部石油第一課境港油槽所◎佐賀玄海▽JF佐賀げんかい呼子町統括支所・浜崎支所◎長崎県▽JF伊奈▽JF志々伎▽J

【8月】◎北海道▽高田ヨキエ・育生・明生―ご尊父様のご葬儀にあたり◎岩手県▽JF重茂―第10回重茂味まつり・鳥羽一郎海難遺児チャリティコンサート募金◎秋田県▽JF秋田県女性連―JF全国女性連経由◎千葉県▽JF九十九里▽JF千葉漁連本所・銚子冷凍冷蔵工場◎東京都▽JF佃島◎富山県▽JFくろべー▽自販機売上一部◎岐阜県▽ト経由◎石川県▽西崎英雄▽JFいしかわすず支所◎島根県▽JFしまね西郷支所（西遊協）―団体解散による▽野津竹浩◎長崎県▽滝保隆―香典返しとして▽長崎大学鴻洋祭実行委員会▽JF島原販売所◎大分県▽第33回大分県水産関係親睦ゴルフコンペ▽JF糸満／（資）カワヒラ商会―自販機売上一部◎ダイドリンコ（株）沖縄オフィス

【7月】◎北海道▽全日本海員組合道東支部◎岩手県▽三陸沿岸芸能振興会◎宮城県▽全日本海員組合東北地方支部◎埼玉県▽小野沢通◎千葉県▽飯村久子◎東京都▽（二社）水産土木建設技術センター共同船舶（株）（公社）全国豊かな海づくり推進協会▽濱田研一▽（公社）日本水産資源保護協会▽JF共水連―平成28年度全国JF共済担当者研修会募金▽潮待茶屋企業組合▽東京築地中央市場福祉報徳会▽買荷保管企業組合▽福田訓之▽清水政幸◎神奈川県▽（一財）日本船員厚生協会横浜海員会館（エスカル横浜）◎新潟県▽全日本海員組合新潟支部◎岐阜県▽匿名◎静岡県▽上柳昭治◎大阪府▽阪井光平◎兵庫県▽（一財）日本船員厚生協会神戸大倉山海員会館（エスカル神戸）◎奈良県▽川邊一郎◎鳥取県▽浜野茂夫◎山口県▽浦部久幸◎愛媛県▽全日本海員組合愛媛支部◎鹿児島県▽全日本海員組合鹿児島支部

岩手事務所／全国海友婦人会宮古支部・山田支部―全日本本部経由◎宮城県▽宮城県秋刀魚漁撈通信協会―全日本東北地方支部経由▽仙台漁業調整事務所碧波会◎埼玉県▽小野沢通◎千葉県▽飯村久子◎東京都▽榎本みつ枝▽石崎信義◎大阪府▽（株）ういち▽高階救命器具（株）◎兵庫県▽阪神低温（株）代表取締役社長蓮沼俊一◎鳥取県▽浜野茂夫◎岡山県▽岡山県漁船保険組合◎長崎県▽（国研）水産研究・教育機構西海区水産研究所◎宮崎県▽宮崎県立宮崎海洋高等学校▽（有）高丸水産代表取締役日高義康

※寄附金は、全て公益目的事業である漁船海難遺児等に対する修学助成事業に使用させていただきます。

編集後記

▼ふれあい旅行に同行し、参加者皆さんの笑顔が仕事の活力となり、お母さん達とのおしゃべりが楽しくて私にもリフレッシュになりました。だけど、フツと気づくとお母さん達の年齢が若い！まだ、微妙な差だけど何年後かには、たぶん全員：（泣）現実逃避に若作りしようとするダーコアを購入してみました。▼皆さんの近況報告もお待ちしております。

2016年度第2回奨学生選考委員会

7月27日、『2016年度第2回奨学生選考委員会』を東京・千代田区の本会事務所に開催し、「奨学生出願者（7月15日締切）の選考」について審議しました。この結果、学資給与奨学生として幼児1名、中学生1名、高校生1名、合計3名が採用されました。なお、新規奨学生を加えた9月末現在の奨学生数は、下表「都道府県別奨学生数」とおりです。

都道府県別奨学生数

(2016年9月末現在/単位:人)

都道府県名	給与奨学生					貸与奨学生		合計
	幼児	小学生	中学生	高校生等	小計	大学生等		
北海道	4	10	6	12	32	8		40
青森			1	3	4			4
岩手		8	7	9	24	1		25
宮城	1	4	4	10	19	1		20
秋田								
山形								
福島	2	7	10	6	25	1		26
茨城								
栃木								
群馬								
埼玉								
千葉		4	2	3	9	2		11
東京						1		1
神奈川		2	1	2	5	1		6
新潟			1	1	2			2
富山								
石川				2	2			2
静岡						1		1
愛知								
福井				1	1			1
山梨								
長野								
岐阜								
三重								
滋賀				1	1			1
京都								
大阪								
兵庫	1		1	3	5			5
奈良								
和歌山		5			5			5
鳥取				1	1			1
島根						1		1
岡山				1	1	1		2
広島			1		1			1
山口				1	1	2		3
徳島						1		1
香川				1	1	1		2
愛媛		2	1	2	5	3		8
高知	1			1	2			2
福岡			1		1			1
福岡有明			1	2	3			3
佐賀玄海			3	2	5			5
佐賀有明								
長崎			5	7	16			16
大分				1	1	1		2
熊本	2	4	2	1	9			9
宮崎		1	1	3	5	1		6
鹿児島		1	3	3	7			7
沖縄			1	4	5			5
合計	11	53	54	80	198	27		225

注1：給与奨学生には特別支援学生を含む。
注2：貸与奨学生には入学一時金のみの奨学生を含む。